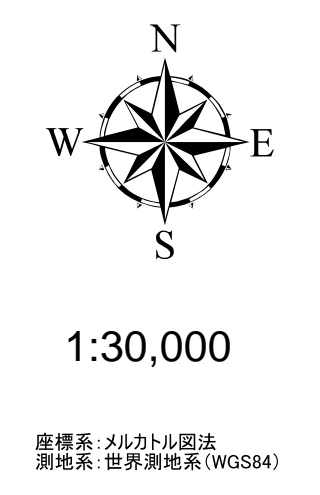
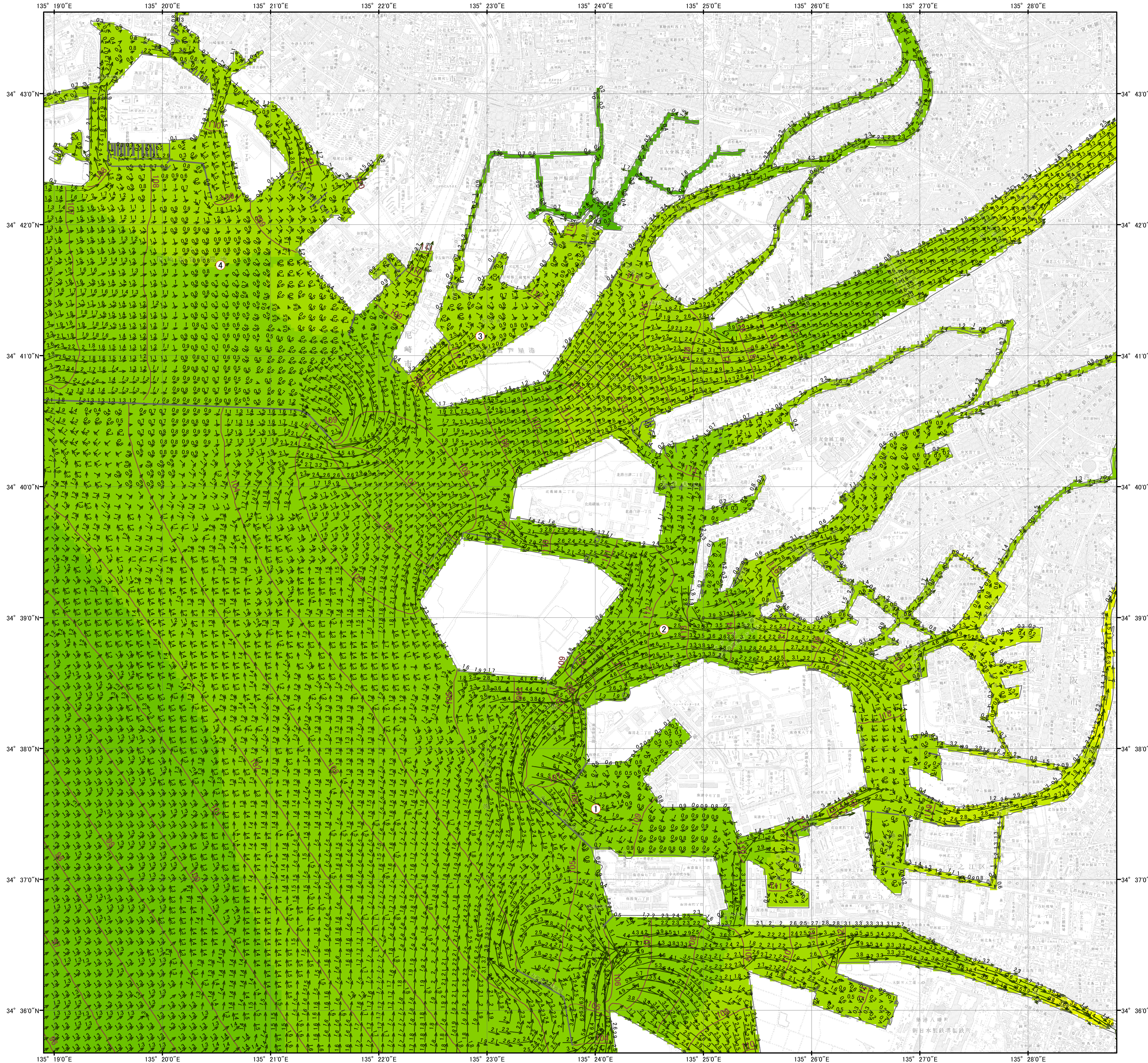
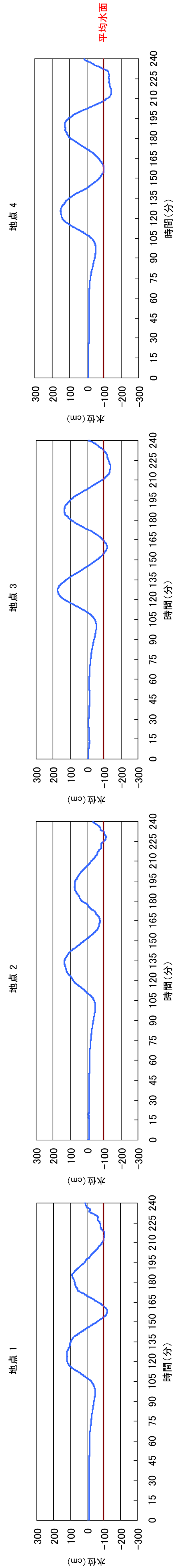


# 大阪 津波防災情報図(進入図)

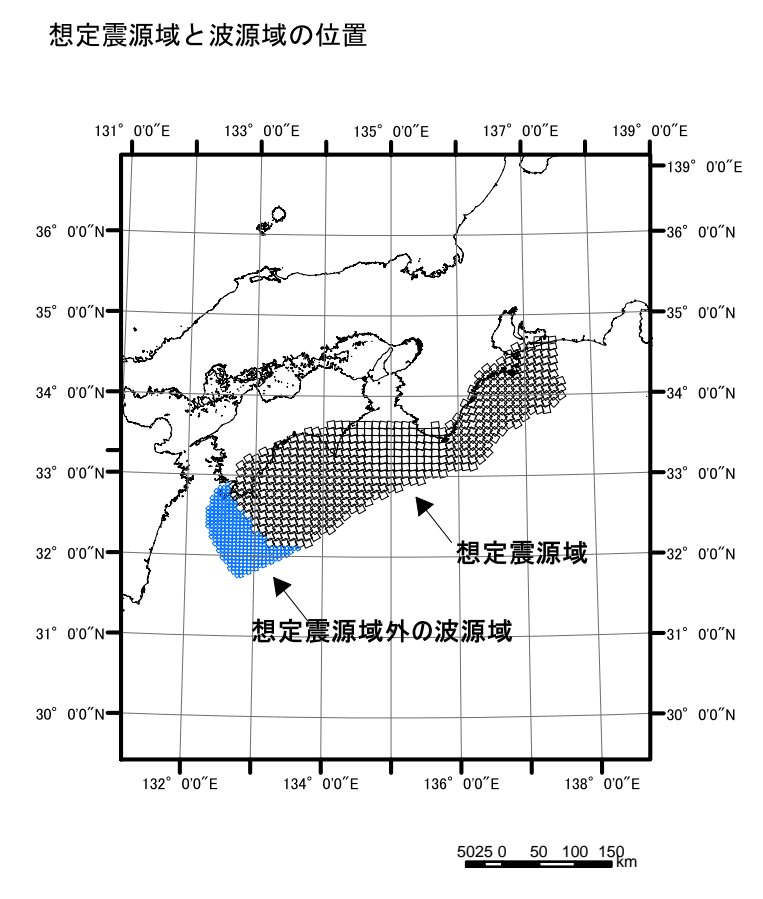
計算条件：最高水面  
隆起量：平均 -9cm(-12cm ~ -7cm)

津波は、震源の位置、規模、細かな地形の影響などにより、試算した津波と異なることがあり、過去には、今回の津波の試算より大きな津波が来たことがある。



- 凡例**
- 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]
  - 経時変化図出力点
- 最大水位上昇**
- 250~最大280cm
  - 200~250cm
  - 150~200cm
  - 100~150cm
  - 50~100cm
  - 50cm未満
- 進入時最大流 [knot]**
- 6 knot
  - 4 knot
  - 2 knot

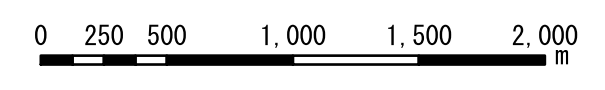
- 津波の到達時間は、水位が10cm変動した時点を算出している。
- 海岸構造物は、地震・津波の影響を受けないものとして計算している。



マクロ的に見たパラメータ	南海地震	東南海地震
断層面積 S(km <sup>2</sup> )	約 36,500	約 14,500
地震モーメント Mo (N・m)	8.34 X 10 <sup>21</sup>	2.15 X 10 <sup>21</sup>
平均すべり量 D (m)	5.70	3.63
モーメントマグニチュード Mw	8.55	8.15

本図は、中央防災会議「東南海・南海地震等に関する専門調査会」で公表された断層モデル及び断層パラメータを使用した。

- 試算に使用したデータは、海上保安庁海洋情報部のJ-EG6500、J-BIRD、沿岸の海の基本図地形データ、及び海図を作成する際の基礎データを使用した。
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平15総復、第673号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。(承認番号 平15総復、第672号)
- この地形図は、大阪府の承認を得て、大阪府地形図DMデータ(2,500レベル)を使用して作成したものである。(承認番号 平15総計、第1751号)
- この地図は、芦屋市長の承認を得て、同市発行の芦屋市基本図(縮尺1:2,500)を使用して調整したものである。(承認番号 芦建計第123号、平成16年2月10日)
- この図は、尼崎市、西宮市の両市長の承認を得て、両市の地形図データを使用したものである。



経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。